

「解答」・「解答例」

選抜区分	2022年度 (選抜区分：学校推薦型選抜)
学校推薦型選抜	文学部 比較文化学科 (科目名：小論文)

問題 I

問 1

ダークが住んでいる地域の教育委員会の議長が、少なくとも小学生に関しては、伝統的な形式の宿題をやめて、学校で出された課題に家庭で取り組ませる代わりに、生徒たちに読書を行わせることを決定したため。

問 2

宿題の有用性に関して意見の不一致が生じるのは目新しいことではなく、学校教育が必要となつて以来、宿題に関しては論争が続いており、1900年代に多くの親は、子供たちが家事を行うこともできる時間を宿題は奪っているに過ぎないと考えていた。

問 3

宿題は成績に良い影響を及ぼし、子供たちの学年が上級になるにつれ、良い影響を及ぼす度合いは高まる。しかし宿題は、低学年においても、単純なスキルに対して良い影響を及ぼす。その一方で、宿題は子供に悪影響も及ぼす可能性がある。宿題の分量が余りに多かたり、余りに難しかったりした際には、子供は落胆し、自分の能力に関する心配を口にするに至る可能性があり、これは好ましいことではない。

問 4

昨年度は、生徒たちには、学校のことを話したりして、家族とより多くの時間を過ごしてもらいたいという当時の校長の考えのもと、宿題を排除した。しかし今年、新任の校長が着任すると、生徒に責任感を身につけさせたいが、子供が家族と共に過ごしたりスポーツを行ったりする貴重な時間も奪いたくないという、バランスへの配慮から、幼稚園から八年生までの生徒は、一日あたり一つに限定して宿題を再び与えられた。

問 5

「出題の意図」を参照のこと。

問題Ⅱ

問1

現代日本において兎キャラクターと言えば、ピーターラビットやミッフィーなどの「かわいい」姿を思い浮かべる人が少なくないだろうが、それらはここ一世紀以内に西欧から移入されたものである。日本では古より、兎は「月」の象徴とされ、そこから派生して「神」やその遣いといった霊力を具えた動物と見做されて来た。そのため、それを崇める意味で戦国時代の武将たちは、兎を武具の装飾に用いた。また、現在、兎好きの人々にとって必ず参拝すべきメッカのようになっている岡崎神社の場合、社務所で授けられるお守りや絵馬などには、いずれも現代的な「かわいい」兎のかたちがデザインされているが、そもそも同神社の御神紋は「かわいい」と感じさせる造形ではなく、そこには兎を神聖な対象としていた古人の眼差しを看取することができる。

(343字)

問2

「出題の意図」を参照のこと。